

『建築職 パーフェクト演習講座 建築材料・施工』(KU12791) 訂正表

2016年03月16日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
		誤	正	
P. 3	[No. 5] 問題 肢D	コンクリートの細骨材率が大きいほど、コンクリートの <u>ワーカビリティ</u> は良くなる。	コンクリートの細骨材率が大きいほど、コンクリートの <u>ワーカビリティ</u> は良くなる。	2016/3/16
P. 36	[No. 5] 解説 肢D	細骨材率が大きいほどコンシステンシーは小さくなり、 <u>ワーカビリティ</u> は悪くなる。	細骨材率が大きいほどコンシステンシーは小さくなり、 <u>ワーカビリティ</u> は悪くなる。	2016/3/16
P. 41	[No. 24] 解説 肢3	コンクリートの打継ぎ面には、不成形シーリング材が用いられる。	コンクリートの打継ぎ <u>目地</u> には、不成形シーリング材が用いられる。	2016/3/16
P. 42	[No. 26] 解説 肢オ	合成樹脂調合ペイントは、一般の鉄部や木材の塗装に使用されるが、コンクリートやモルタル面への塗装には適さない。	合成樹脂調合ペイントは、一般の鉄部や木材の塗装に使用されるが、 <u>アルカリ性の強い</u> コンクリートやモルタル面への塗装には適さない。	2016/3/16
P. 45	[No. 39] 解説 肢2	山留め支保工の支柱は、乗り入れ構台の支柱として兼用できる。	山留め支保工の支柱は、 <u>安全の確認ができれば</u> 乗り入れ構台の支柱として兼用できる。	2016/3/16

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitei>)に掲載された日付です。